(別紙4(2))

事業所名グループホーム長篠の家

目標達成計画

作成日: 令和元年 10 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	8	市民病院が開催する糖尿病の勉強会は年2回 程行われるが現状参加出来る職員が少ない。 また、新入社員の教育が出来ない	勉強会にはなるべく参加し、多数の職員にも 出席させたいと思う。新入社員が介護につ いて未経験が多い為、資格取得を促して行 きたい	勉強会に参加出来る人数には限りがあるが、 人員配置など考慮し、支援して行きたい。介護 や、記録の記入など指導して行きたい。	3ヶ月
2	9	契約に関する説明と納得について、契約の締結、解約などの説明など十分な説明を行い、理解して貰っているが、お菓子の持ち込みや当施設の主治医の病院以外(歯科、眼科)は家族対応でお願いしている。	家族会で説明をしたが欠席の家族にはうまく 伝わっていない。	数年前に入居された方々は契約時に地域の受診は当施設の対応としていたが、出来る限り家族対応でお願いしたいと伝えている。(人手が不足する為)	6ヶ月
3	13	職員を育てる取り組みについて 新規採用が2 名勤務しているが、介護経験が無く、認知の方 の対応が解らない。記録の記入の未経験	介護の基本を身につけて貰う(なるべく資格 取得を促したい)教育係りを1人就けたいが、 勤務の関係上無理がある)	資格取得はもちろんだが、利用者一人一人の性格を把握し、対応して貰う。一緒に勤務した職員が指導する。(作業の内容を統一する)記録の記入は事故があった場合の時に備えて簡潔に指導する。	5ヶ月
4	34	急変や事故発生時の備えについて 利用者 の急変の対応はマニュアルで勉強しているが、 その場にで起きた時に冷静で対応出来るのか	マニュアルに添って対応出来るよう職員同士の情報交換を共有し、年2回以上勉強会を行う。病院との連携も誰もが対応出来るようにする。	緊急時にどう対応して行くか、月2回のカンファレンスで利用者の状態の情報を共有し、病院からの指示が用意されている為、把握しておく。家族の対応、記録の記入をしっかり、身につける。救命講習を年1回は行いたい。	
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。